上毛新聞
2020.10.08

パラアスリート 堀江さんが講演

館林

人権を尊重した男女共同参画の実現を図るため、館林市などは17日、2018年平昌パラリンピックのパラアイスホッケー日本代表、堀江航さんによる講演会「障がい者スポーツとの出会いと挑戦」を市文化会館で開いた。約100人が、常に前向きな堀江さんの話に耳を傾けた。

大学時代に事故で左大腿部を切断した堀江さんは、写真や動画を使って車いすバスケットボールやパラアイスホッケーに挑戦した半生を紹介した。現在はカヌーで東京パラリンピック出場を目指しながら、パラアスリートの支援にも取り組む。

「チャレンジを楽しむ、失敗から学ぶ、今を生きる」の三つを大切にしてきた」と語り、「健常者と障害者がスポーツを通じて互いを知り、尊重できる社会を実現したい」と訴えた。競技用車いすを片輪で乗るパフォーマンスも披露した。

パラスポーツに挑戦した半生を語る堀江さん